

【A：神楽団体（舞、演目、社中の保存・伝承など）】

テーマ	保存・伝承すべき内容	取組案	推進主体
舞、演目、社中の保存・伝承	奉納神楽文化	夜明け舞の実施。	
	儀式舞	神職時代から、確固たる伝承活動によって継承されている舞の文化財指定。	
	社中、演目	- 組織（石見神楽連絡協議会など）として相互にサポートする体制づくり。 - 社中と演目をセットで文化財指定する。 - 社中と演目をセットで映像として残していく。 - 各社中の原点の舞について社中員に伝えていく。	
調査研究		舞、演目、社中の保存・伝承などについての行政による調査・研究及び支援。 - 神楽台本の軌跡の調査。	
後継者育成			

【その他】

【B：神楽産業（道具、製作技術、産業の継続・発展など）】

テーマ	保存・伝承すべき内容	取組案	推進主体
技術の保存、ブランディング	神楽道具（面、衣裳、蛇胴等）	- 時代ごとに残す。 - 衣裳や面など有形のものがなくならないように保存する。 - 石見神楽面の免許制度・商標登録。	
	神楽産業（ものづくり技術）	- ブランド化 - ものづくり技術についての文化財指定。行政が関与して継承が行われるよう働きかけと支援ができる体制づくり。 - 植田倫吉氏が保持する市指定無形文化財「石見神楽蛇胴製作技術」の県、国の文化財指定に向けた働きかけ及び取組。 - 神楽産業の組合・技術者会の創設。	
後継者育成		技術の継承を希望する者が続けることができるための行政からの金銭的な支援。（例：神楽産業研修制度の創設）	
調査研究		- 道具、製作技術、産業の継続・発展などについての行政による調査・研究及び支援。 - 石見神楽面の歴史の調査研究。	
情報発信		- 市民理解の普及。 面、衣裳や蛇胴などを見たり触れたりする場所の整備。	

【その他】

【C：歴史・伝統などの情報発信、後継者育成、ファン拡大】

テーマ	保存・伝承すべき内容	取組案	推進主体
後継者育成	・ 歴史や資料 ・ 石見神楽を創り出したまちとしての市民の誇り	・ 学校カリキュラムに取り入れるなど後継者育成プログラムの強化を行う。 ・ 高等教育への組み込み。	
資金調達・マネタイズ		・ ポッドキャスト（スマホなどの専用アプリを使うことで、いろんなジャンルのトークや音楽を聞けるサービスのこと）やNFT（偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータのこと）によるマネタイズ（収益化）。 ・ 観光への波及（夜神楽の場所や時間等の変更など）	
情報発信、ファン拡大		【情報発信】 ・ 浜田における石見神楽の定義を明確にし、浜田が発祥であるということを発信する。 ・ 観光客のための効果的なプロモーション（行政や観光協会などの関係機関の役割分担の整理など）。 ・ デジタル化に対応し、きちんとした情報発信。 ・ 浜田市独自のPR動画の制作。 ・ 六調子、八調子の違いなどをプロモーションする。 ・ 日本遺産になった要因、伝統芸能としての価値、演目の価値などをしっかり伝えていく。 ・ 神楽関係者の想いを発信していく。市民にわかりやすいよう背景なども伝えていく。 ・ それぞれの社中が舞っている場所に行ってもらい、本物を見てもらう仕組みづくり。 【体験・学習機会の創出】 ・ 歴史の変遷、県外や海外公演の歴史、石見神楽の特徴などを学べる機会を作る。 ・ 地域住民が参加できるワークショップや体験イベントを行う。 【拠点施設】 ・ 面、衣裳や楽器を見たり触れたり、石見神楽について学べる場所の整備。 ・ 一カ所に施設を創る場合、展示もできて、石見神楽産業に関わる資料や道具等を保存した上で、石見神楽の文化歴史を研究する「石見神楽研究センター」としての位置付けが必要。 ・ 石見神楽に関する総合センターとして企画立案や本物を見てもらうための拠点施設を整備する。 ・ 歴史、資料、神楽台本を体系的に展示したり、収蔵庫を見せる（オープンストレージ）展示を行う展示・情報発信施設の整備。	

【その他】